

登録コード	E2905400	開講年度	2026				
授業科目	英語学特殊演習					担当教員	田中 江扶
英文授業名	Advanced Seminar in English Linguistics II					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・6時限	対象学生	
講義室	教育N 2 3 0			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー 非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					みずから問題を見出し, すじみちを立てて解決できる	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					論文の主張を正確に把握し、そこから問題を発見し分析できるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本演習では、各人のテーマについて議論し、論文としてまとめていく。						
(5)授業計画	第1回：ガイダンス 理論言語学について 第2回：理論言語学史 第3回：理論言語学概観(言語学派とその主張) 第4回：統語論 第5回：教材研究（学校文法と統語理論） 第6回：意味論 第7回：教材研究（学校文法と意味理論） 第8回：機能論 第9回：教材研究（学校文法と機能理論） 第10回：語用論 第11回：教材研究（学校文法と語用理論） 第12回：語彙意味論 第13回：教材研究（学校文法と語彙意味理論） 第14回：レポート発表議論 定期試験・アンケート						
(6)成績評価の方法	以下を総合して判定する。 ・論文発表（80％）、議論への関わり（20％） 評価割合は若干の調整を行うことがある。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀, 89-80％ 優, 79-70％ 良, 69-60％ 可, 59％以下 不可						
(7)成績評価の基準	レポートや論文が論理的に作成されていれば「水準にある」, 問題設定の質が高ければ「やや上にある」, 分析方法の質が高ければ「かなり上にある」, 妥当性のある独自の考えが述べられていれば「卓越している」						
(8)事前事後学習の内容	・発表のために関連する本や論文を読む。						
(9)履修上の注意	・各自のテーマについて発表してもらう。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	・基本的に平日の9時から18時に研究室(N230)にいます。 メールアドレス：kout@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	特になし（随時、参考文献および資料を配布）						
【参考文献】	・各自のテーマに応じて紹介。						